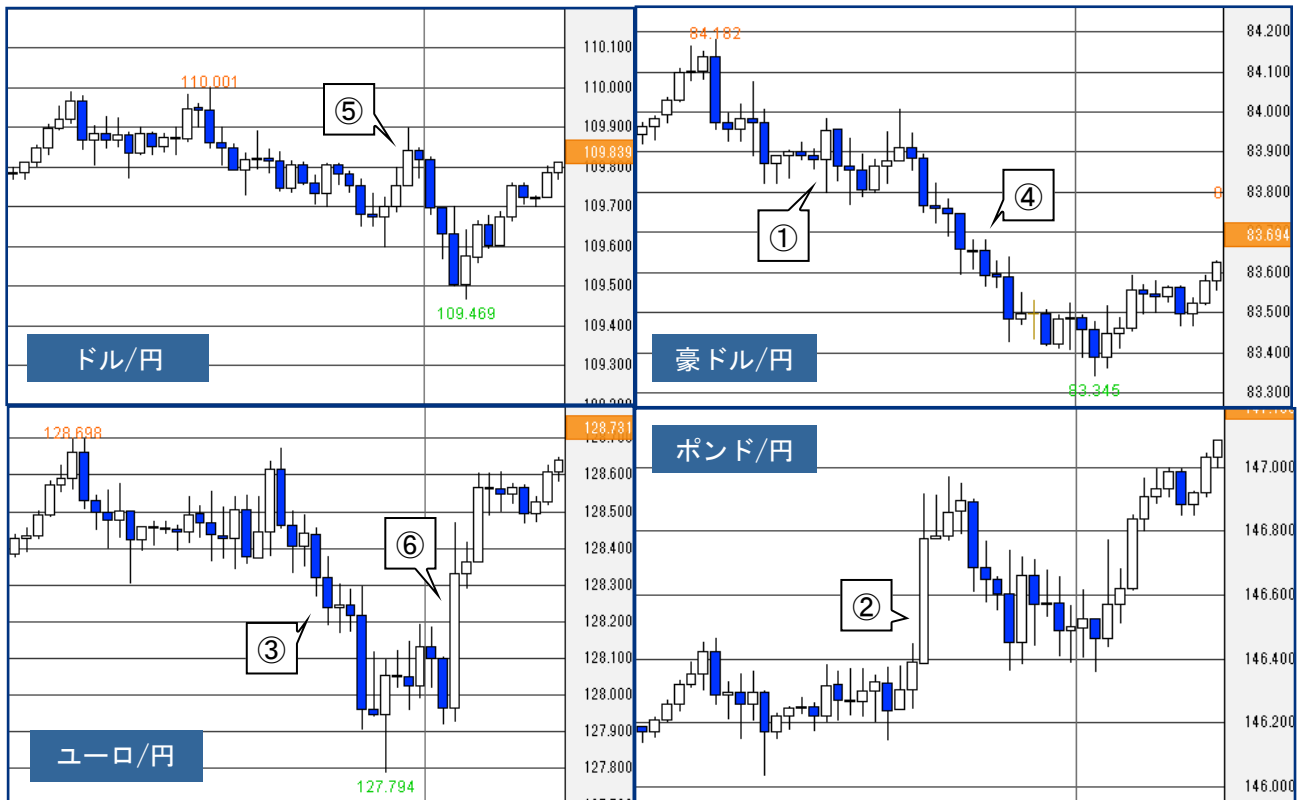


6月6日(水曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円の十字線をめぐる解釈

5日(火)の為替相場

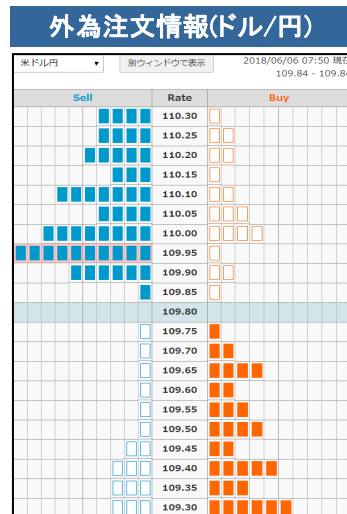


期間：5日(火)午前6時10分～6日(水)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 豪中銀(RBA)は予想どおりに政策金利の据置き(1.50%)を決めた。声明では「政策スタンスを変更しないことが経済の持続可能な成長と、時間をかけてインフレ目標を達成することに一致すると判断」「低水準の政策金利が豪経済を引き続き支えている」などとして、前回までの内容を概ね踏襲した。
- ② 英5月サービス業PMIが54.0と市場予想(53.0)を上回ると一時ポンド買いが強まった。
- ③ イタリアの新首相に就いたジュゼッペ・コンテ氏が所信表明演説を行い「市民の声を聞くのがポピュリズム(大衆迎合主義)ならば、我々はその通りだ」と発言。経済政策については「緊縮でなく、経済の富を増やすことで公的債務を減らしたい」と述べ、目玉公約である失業者らへの最低所得保障や大幅減税を実行する方針を示した。これを受けて、同国の財政悪化懸念が広がり、国債価格や株価が下落する中、ユーロ売りが活発化した。
- ④ 米政府が一部の石油輸出国機構(OPEC)加盟国に、石油増産を要請しているとの報道などを材料に、NY原油先物が64ドル台前半まで下落する中、資源国通貨にも下落圧力がかかった。
- ⑤ 米5月ISM非製造業景況指数は58.6と市場予想(57.7)を上回り、前回(56.8)から上昇。また、米4月JOLT求人数も、669.8万件と市場予想(635.0万件)を上回った。
- ⑥ 欧州中銀(ECB)関係者の話として「来週の政策会合は量的緩和(QE)終了を議論する重要な機会になる」と報じられるとユーロを買い戻す動きが強まった。

※巻末の特記事項を必ずお読みください。

5日(火)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22539.54 △63.60	5994.876 ▼30.672	3114.206 △23.015	7686.80 ▼54.49	12787.13 △16.38
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24799.98 ▼13.71	0.0540% △0.0030	2.725% ▼0.006	1.283% ▼0.014	0.369% ▼0.049
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.4918% ▼0.0244	2.9277% ▼0.0146	65.52 △0.77	1302.20 △4.90	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	109.200-110.400	128.100-129.400	83.200-84.200	146.500-148.000

【ドル/円】

昨日のドル/円は、109円台後半を中心に方向感なく推移。結果的にはほぼ横ばいでクローズしており、日足チャートには気迷い商状を示す十字線が描かれた。この十字線を「上値が重い証左」と見るか、「下値が堅い証」と見るかについては見解が分かれそうだ。どちらが正解かを判断する上で重要なのは本日の相場展開であろう。昨日高値110.00円前後を超えられれば、上値探索モードに入ってもおかしくない一方、昨日安値109.47円前後を下抜ければ調整ムードが広がりそうだ。ただし、本日も決め手となりそうなイベントは見当たらない。突発的なニュースがなければ109円台後半から抜け出すのに苦労する展開が続く可能性もある。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
6/6(水)	10:10		(日) 日銀国債買入れオペ(1-3年、3-5年、5-10年)	-	-
	10:30	◎	(豪) 1-3月期GDP(前期比)	+0.4%	+0.9%
	10:30	◎	(豪) 1-3月期GDP(前年比)	+2.4%	+2.8%
	16:00		(ユーロ圏) プラートECB理事、講演	-	-
	18:00		(ユーロ圏) クノット・オランダ中銀総裁、講演	-	-
	19:00		(英) テンレイロMPC委員、講演	-	-
	21:30	○	(米) 4月貿易収支	-490.0億USD	-490.0億USD
	21:30		(米) 1-3月期非農業部門労働生産性・確報(前期比年率)	+0.7%	+0.6%
	21:30		(米) 1-3月期単位労働コスト・確報(前期比年率)	+2.7%	+2.8%
	23:30		(米) EIA週間原油在庫統計	-	-
	24:00		(英) マカファーティMPC委員、講演	-	-

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。
Copyright©2018Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com